

ふくい生衛だより

発行所/福井市松本3丁目16-10 (公財)福井県生活衛生営業指導センター 発行人/理事長 中野 達也 印刷所/(有)田中印刷堂

新年のごあいさつ

福井県知事 杉 本 達 治

新年あけましておめでとうございます。みなさまが、お健やかに新春を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類へ移行し、社会経済活動が徐々に戻ってきました。一方、物価高の影響が長引き、みなさまの日々の生活や経営を守るため、経済対策に全力で取り組んでまいりました。

いよいよ3月16日に北陸新幹線の福井・敦賀開業を迎えます。外に開かれ、チャレンジの舞台が大いに広がる「ふくい新時代の幕開け」です。

これまで新幹線駅周辺の整備や県内各地の観光地の磨き上げ、地域交通の魅力や利便性の向上など、官民一体となったまちづくり・にぎわいづくりを全力で進めてきました。また、中部縦貫自動車道大野・九頭竜間や冠山峠道路の開通など、幹線道路網の整備も着実に進展しています。県勢を大きく飛躍させる100年に一度のチャンスを最大限に活かし、交流人口の拡大はもとより、さらなるビジネスや人材の誘致につなげ、新幹線効果を最大化・持続化してまいります。

さらに、日本一幸福な子育て県「ふく育県」の拡大、若者や女性の活躍推進など、県民のみなさまの住みやすさをより一層高め、一人ひとりの最大幸福を追求する「幸せ実感社会」の実現を目指します。また、カーボンニュートラルの実現に向けて、エネルギー源の転換や省エネの推進に「オールふくい」で取り組み、地域の持続可能な発展につなげていきます。

生活衛生関係営業者のみなさまにおかれましては、日ごろから県民生活の質の向上と、地域の活性化にご尽力をいただいているところです。引き続きそれぞれの分野において県民の方々に寄り添うサービスを提供いただき、「ふくい新時代の幕開け」を機に本県を訪れる多くのお客様へ、これまで培われた経験と斬新なアイデアにより、幾度となく訪れたくなるような魅力ある環境づくりに一層のお力添えをお願い申し上げます。

年頭に当たり、みなさまのますますのご多幸とご活躍をお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。



新年のご挨拶

公益財団法人 福井県生活衛生営業指導センター理事長
福井県生活衛生同業組合連合会会長

中野 達也



新年あけましておめでとうございます。皆様、お健やかに新春を迎えることを心からお喜び申し上げます。

今年は、3月16日、待ちに待った北陸新幹線の福井・敦賀開通の年であります。関東、信州など県外から多くの方々が来福されるでしょう。そして、本県での様々な旅の経験をきっと楽しみにしていること思います。

私たちは、県民生活とのかかわりの深い業種であるとともに、県外からの観光客と接する機会の多い業種でもあります。この千載一遇のチャンスを見逃すわけにはいきません。それぞれの業種において、精いっぱいのおもてなしの精神を發揮し、熱意と温かみのこもった創意工夫のサービスで旅の人達をお迎えしたいと思います。

原油をはじめとする諸物価の高騰という厳しい環境が引き続いているが、これを契機として、将来を担う若手経営者が先頭を切って心機一転奮起し、従来から山積する諸課題からの脱却の始まりの年としていきましょう。

新しい年が、皆様にとって、干支の龍のごとく飛翔・飛躍の年となりますことを祈念しまして、新年の挨拶といたします。

本年もよろしくお願い申し上げます

(公財)福井県生活衛生営業指導センター役員一同

理事長 中野 達也 (理 容)

副理事長 光森 幸夫 (中華料理) 土田 耕一 (旅館ホテル) 審山 榮一 (麺類業)

理事 山田 剛士 (美容業) 有賀 秀雄 (クリーニング業) 岩崎 博司 (公衆浴場業)

伊井彌州雄 (興行) 木村 裕昌 (料理業) 松谷 亨 (寿司商)

西野 昌美 (喫茶飲食業) 中村 勉 (飲食業) 後藤 和憲 (社交飲食業)

森谷 淳一 (食肉) 池上 栄志 (福井県健康福祉部長)

専務理事 朝日 文尚

監事 北川 昌信 (クリーニング業) 渡邊 良一 (料理業)

(令和6年1月1日現在)

栄えあるご受章おめでとうございます

福井県理容生活衛生同業組合理事長

中野 達也 氏

秋の叙勲で「旭日双光章」を受章されました。



福井県中華料理生活衛生
同業組合副理事長

伊藤 順仁 氏



福井県料理業生活衛生
同業組合常務理事

川口 治兵衛 氏



春の叙勲で「旭日单光章」を受章されました。

生活衛生功労者の表彰

生活衛生功労者として、次の方々が栄えある厚生労働大臣表彰、全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰、福井県知事表彰、福井県生活衛生同業組合連合会長表彰を受賞されました。

日頃のご研鑽に敬意を表し、心からお祝いを申し上げるとともに今後とも益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。
(敬称略)

厚生労働大臣表彰

清水 澄江（喫茶飲食） 藤本 正幸（料理） 三村 和裕（麺類）

全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰

森谷 淳一（食肉） 小森 和博（公衆浴場）
小林 常宏（社交飲食） 藤原喜巳男（旅館ホテル）

令和5年度福井県知事表彰

河上 裕之（旅館ホテル） 森 哲也（中華料理） 山田 定義（飲食）

令和5年度福井県生活衛生同業組合連合会長表彰

大簞理一郎（理容） 浅野 昌典（理容） 木下 富夫（公衆浴場）
坂下 雄一（公衆浴場） 前田 弘宣（旅館ホテル） 開発 肇（料理）
赤坂 敬造（飲食） 浦谷千世子（社交飲食） 中嶋富美子（社交飲食）

組合だより

理容生活衛生同業組合

耳エステは血行促進やお顔のリフトアップに効果的！

昨年の10月9日に嶺北会場（ハピリンホール）、11月19日には嶺南会場（敦賀オルパーク）で、一般消費者向け「理容師による美肌体験イベント」を開催しました。会場には76名の方が来られ、レディースシェービング、メンズフェイシャル、耳エステのいずれかを選んで実際に体験をして頂きました。特に耳エステは耳掃除から始まり、たくさんのツボを刺激しもみほぐすことで、今話題のリラクゼーション（癒し）の効果があり、ほとんどの方が初めての体験で気持ち良かったと大変喜んで頂きました。一昨年はHP上で女性のシェービングやプライダルシェービング、メンズフェイシャルをPRしましたが、やはり実際に体験してもらうことで、リフトアップ効果など仕上がりの良さを感じて頂くことが出来ました。これからは女性のお客様も気軽に理容店へ来て頂けるように、女性部を中心になってお迎えできる体制を整えて参ります。

また、10月から12月の3ヶ月間は、3年に一度の理容感謝祭を行いました。組合員一同、お客様に日頃の感謝の気持ちを少しお届けすることができたのではないかでしょうか。当選された方々には1月下旬から賞品を順次発送していきます。

昨年はいろいろな方法で組合加盟店のPRが出来ました。今後も継続していくことで、組合への加入促進に努めて参ります。

美容業生活衛生同業組合

長い間、世界的に影響のあった新型コロナウイルスもV類へと下がり、少しずつ落ち着いてきた感がありますが、完全には終息していないため引き続き感染症対策を継続しております。これまで新型コロナウイルスについて国や各自治体の援助を受けてくることが出来ましたが、これからは自分たちでやっていかなければならないことも多く、「自分の身は自分で守る」という精神でやっております。そのために衛生管理講習会の開催、保健所の指導のもと、感染症対策の周知徹底に努めています。

また、美容師法やそれに関連する規則の遵守を行なっております。特に出張美容に関しましては、美容所という営業拠点を持たない美容師の出張美容の禁止を強く訴えております。これは、きちんとした営業拠点・施設を持たない美容師によるトラブル防止とともに、お客様に安全・安心の施術を提供するためです。

今後とも消費者に尊敬され、社会に貢献できる美容師を目指し、そのために美容組合の存在というものを強く訴えていくつもりです。

クリーニング業生活衛生同業組合

「福井のものづくり」をテーマに、多彩な体験、実演、展示をする「おもしろフェスタ」が8月

5、6日、サンドーム福井で開催されました。当組合も、組合員や青年部の協力のもと、2日間に渡り参加しました。

ものづくりを楽しめる体験コーナーでは、大中小のトートバックに好きな絵柄や名前を染めて持ち帰ることができるコーナーが多くの家族連れで賑わいました。染み抜きや、アイロン掛けコーナーでは、組合員が技術を披露した後、クリーニングに対する相談を受けました。奥様方に家庭でできる染み抜き方法やアイロン掛けをお伝えしました。当組合で実施している「おさがり学生服」も展示され、子どもさんや学生さんの体型に合った服が取り引きされました。

組合員、青年部員、関係者の皆様のご協力により、イベントを無事終了できましたことを厚くお礼申し上げます。

公衆浴場業生活衛生同業組合

時代の波に乗る

今年は、銭湯を舞台にした映画「アンダーカレント」やNHKの朝ドラ「ブギウギ」などが放映され、一部メディアでは「銭湯ブーム」が到来したとの報道がありました。しかしながら、本県におけるブームの兆しは肌で感じることができず、客層が変化したとか客足が伸びたという反響はなかったようです。とは言え、このような流れを見逃してはならないということで、組合としては新たな取組みを行い、銭湯の存在感や露出を高める努力をしています。

事例としては、ホームページを刷新し、リアルタイムでの情報発信ができるようにしました。また、銭湯川柳の応募を、用紙だけでなくスマホからも行えるようにしたり、「生成AIを活用して川柳を作ってみる」という新たな企画を導入したりしました。その結果、昨年を上回る作品が集まり、作風も少しばかり若返ったような気がします。

今後もアンテナを高くして、様々な情報や意見を幅広く取り入れることで、「時代の波」に乗り遅れないように頑張って参ります。

興行生活衛生同業組合

福井の眼鏡産業の黎明期を描いた映画『おしょりん』が、昨年10月20日から県内先行上映(全国公開は11月3日から)しています。

舞台は福井県足羽郡麻生津村の増永眼鏡、増永五左衛門役を小泉幸太郎さん、五左衛門の妻ムメ役を北乃きいさん、五左衛門の弟幸吉役を森崎ワインさんが演じ、津田寛治さんや高橋愛さんなど地元出身の役者が脇を固めました。

この映画はオール福井ロケで制作され、映画の冒頭には福井県内の観光スポット、伝統工芸、グルメなど県内17市町の魅力が紹介されており、北陸新幹線福井開業を前に福井県の魅力を全国に発信する絶好の映画ともなりました。

皆さんお見になられましたでしょうか？ 県内では2月1日まで上映している映画館もあると聞いています。俳優陣の熱演がすばらしく途中涙ぐむ人も多い感動の作品です。ご鑑賞を心よりお勧めいたします。

本年も、映画館では1人でも多くの方に劇場に足を運んで頂き、より快適にご利用頂けるよう組合員一同で取り組んでおります。今後とも映画と劇場を末永くご愛顧頂きますようよろしくお願い致します。

旅館ホテル生活衛生同業組合

経営改善セミナーを開催、「お幸ざいうちわ、のぼり」の配布

新型コロナウイルス感染症の影響が残る宿泊業は、経営者の高齢化や後継者不足の課題は解消しておらず、今後も休廃業・解散・倒産件数は増加傾向が予測されています。経営者の平均年齢は年々上がっています。今後5年から10年の間に引退していくと考えた場合、多くの経営者が今のうちから事業承継に向けて具体的に準備しなければ、後継者問題に悩むでしょう。そこで当組合は今回、事業継承及び相続対策等についてのセミナーを開催いたしました。宿泊業の組合員だけでなく、広く一般の方にむけてチラシを配布したところ、多くの方々に参加いただきました。また、同時に福井県警察本部からの公衆無線LAN(Wi-Fi)の適切なセキュリティ対策の説明もしていただき、かなり有益なセミナーになりました。



「長寿の元と言われる福井の伝統的なお惣菜料理」の総称として、福井が“幸福度No.1”であることにちなみ「お幸ざい」と名付けました。「お幸ざい」を京都のおばんざいのようにブランディングし、県内の宿泊施設で朝食などにて提供し、福井に行きたいと思うきっかけづくりにできればと思っています。過去にはポスター、チラシ、卓上POPを作成し、今年は「お幸ざいうちわ、のぼり」を作成しました。これからはホームページ等で知らせること、さらに県をはじめとする行政の観光パンフレット等にも努めて掲載してもらい、全国に「知らせる」努力をすることが第一歩だと思っています。また、「お幸ざい」をテーマとしたブランディング・セミナー等も企画したいと考えています。

料理業生活衛生同業組合

第109回全国料理業福井大会開催決定！

令和2年度に福井県で開催される予定だった全国料理業生活衛生同業組合連合会が、ついに本年度第109回全国料理業福井大会として行われることに決定致しました。

令和2~4年のコロナ禍による中止を経て、昨年度（第108回）は千葉で4年ぶりに開催されました。そして本年度、福井の地で、昭和39年度以来、実に60年ぶりという節目の年に迎えられることは、大変喜ばしいことと思っております。3月16日には北陸新幹線の金沢-敦賀間開業を迎え、まさに福井にとって願ってもないチャンスであり、遠方からのお客様（組合員）の多数の参加を期待しております。

福井には料理文化が根づいており、敦賀の昆布を初め、越前打刃物、越前和紙といった料理に関わるほとんどの物が県内にあり、四季折々の食材が楽しめます。6月10.11日にかけて「ザ・グランユアーズ・フクイ」にて開催される全国大会に向けて、少数精鋭で頑張りたいと考えています。皆様のご協力のほどお願ひ申し上げます。

寿司商生活衛生同業組合

すし技術コンクール“中部2023”開催

去る11月1日、名古屋にある『東邦ガスショールーム オイシス』にて、愛知県すし組合主催による、技術講習会を兼ねた「ミニ技術コンクール」が開催されました。

技を磨き、互いに高め合い、競い合う場を提供することにより、「すし」技術の継承と向上、並びに後継者の育成を図ることを目的としたこの企画に、当組合からは2名の若手職人が参戦しました。

競技は ①笹切りの部、②巻き寿しの部、③握り寿しの部、④関西江戸盛りの部の4種目。当組合の若手2名は笹切りの部に出場しました。制限時間12分で6作品！技能はもとより、衛生上の心掛け、仕事の段取り、後片付けまでが競技の対象となります。先輩方の厳しい指導を受け臨んだ大会で、2人の作品はどれも素晴らしいものでしたが、初参加の緊張からか片付けの時間が足らず、残念ながら入賞には至りませんでした。しかし、彼らはそこで立ち止まらず、もう既に次のステップに向けて進んでいます。この経験を糧に、懸命に学び努力を重ね、さらなる成長を遂げることでしょう。

デジタル化が進む今だからこそ、繊細で、かつ職人の技が際立つ『すし』という伝統を、未来でもずっと絶やさず受け継いでもらえるよう、後進に応援やサポートを続け、次代を担うために頑張っている彼らの成長と活躍を見守って行きたいと思います。

麺類業生活衛生同業組合

全国麺類飲食業者福井大会開催

全国のそば店など麺類業者が集まる第89回全国麺類業者福井大会を、10月18日、あわら市のグランディア芳泉で開催しました。大会テーマ「明日に向かって つなごう縁を」を掲げ、そばの魅力の発信や後継者育成に取り組むことを誓いました。県内での開催は25年ぶりで、県内を含め、全国から327人が参加しました。

大会式典では、杉本知事を始め国会議員や、あわら市長など多数の来賓がご臨席いただき、業界の発展や、衛生的な営業に長年尽力した48人に表彰状や感謝状が贈られました。続いての研修会では、落語家によるそばの話やトークショーに会場から笑いがこぼれ、福井商業高校のチアリーダー部「JETS」の演技に会場全体が酔いしれました。引き続き懇親会に移り、華やかな鏡開きに始まり、福井県産の食材を使った和食のフルコースに舌鼓を打ち、ベリーダンスのエネルギーッシュなダンスパフォーマンスもあり、和やかな雰囲気の中、来年の宮城大会での再会を誓って終了しました。



喫茶飲食業生活衛生同業組合

〈通常総会開催〉

去る6月27日午後3時より亀の井ホテル福井において当組合の令和5年度通常総会を開催しました。

<インボイス講習会>

令和5年10月からのインボイス導入に向けて令和4年1月31日に鯖江市ベルベールにおいて講習会を実施しました。基本的な説明と併せて特に飲食店における導入の必要性など内容が分かりやすく有意義な研修でした。

<秋の研修旅行>

11月21日に実施された秋の研修旅行は約30名が参加しました。『能登力キまつり』の食べ放題ツアーは良い天気と沢山の参加者のおかげで楽しい一日になりました。

令和5年度は他に新規組合員の入会金無料キャンペーンや組合ホームページの刷新など担当を決めて実施しています。少しでもお役に立てるよう、今後も役員一同知恵を絞って事業を推進してまいります。

飲食業生活衛生同業組合

福井県飲食業生活衛生同業組合の振興事業として、本年度も鯖江支部が受け持たせて頂きました。11月30日(木)に鯖江市内の就労継続支援A型施設ハートオブマインドさんへ食事の提供事業を行いました。昨年非常に感謝され喜ばれましたので、今年も選ばせて頂きました。今年もあいにくの雨ではありましたが、10時から敷地内駐車場をお借りして秋吉の焼き鳥を焼き、組合員にて手際よく進めることができました。その他の食事に関しては、施設内に調理設備が無い事もあり、お弁当の配布を行いました。3カ所ある施設の分を準備し、昼食時間に組合員の手渡しで直接配りました。新聞記事には70食と記載されてしましましたが、職員を入れて80食分の提供を行いました。

施設の職員さんたちも協力的で非常に気持ちの良い事業であり、手渡しした時の笑顔やお礼の言葉が印象的で、今後もこのような振興事業活動がある場合は是非この施設を考えたいと感じる有意義な事業となりました。

社交飲食業生活衛生同業組合



11月を全国社交飲食業強化月間と位置付けまして、希望組合参加店（全国約3000店、福井県約70店）を対象に、「おもてなしの秋」キャンペーンを初めて実施致しました。お客様が会計の際にQRコードを読み込むと抽選に参加することができ、一万円、五千円、千円の電子マネーポイントが当選するというものです。千円を一回、五千円を二回も当選なさった強運の持ち主もいらっしゃった様です。来年度もキャンペーンの実施を目指しております。

いまだコロナの影響を受けている私達に追い打ちをかける様に、物価、エネルギーの高騰、人件費の上昇等さまざまな問題を抱えたまま営業を行っております。今こそ組合員が一致団結して、この難局を乗り越え、以前の活気ある社交飲食業にして行かねばなりません。

食肉生活衛生同業組合

「ふくい食と農の博覧会」への出展

イベント参加事業として、11月19日（日）に福井駅・県庁周辺等で開催された、「ふくい食と農の博覧会」に出展しました。福井県産牛肉「若狭牛」や、令和5年夏に復活した「ふくいポーク」のPRおよび消費拡大の為、試食コーナーを設置し、しゃぶしゃぶを各600食振る舞いました。食肉に関する情報をパネルで紹介したり、食肉の栄養に関する情報が書かれたアルコール入りウエットティッシュの配布をしたりしました。



新型コロナウイルスもら類に移行となり、4年ぶりの通常開催でした。また、新幹線開業を目前に控えており、例年は産業会館での開催ですが、駅や県庁周辺に場所を移しての開催となりました。会場を変えて初の開催で、また真冬並みの冷え込みとなり悪天候で不安でしたが、開始前から多くの方が配布待ちに長蛇の列を作ってくださいり、とても活気にあふれたイベントとなりました。組合で作成したオリジナルアルコール入りウエットティッシュも人気で、組合のアピールにも繋がったと思います。

来年度は新幹線も開通しており、さらに規模を大きくして開催することなので、県外からもよりたくさんの方に福井を訪れていただき、若狭牛やふくいポークをご堪能頂けるよう、準備していきたいと思います。食肉に関する知識も増えるので、美味しい勉強になる！食と農の博覧会に、来年度もぜひ足を運んでみてくださいね！

中華料理生活衛生同業組合



北陸新幹線の開業に向け、令和6年度の全国中華料理業福井大会を受けることになりました。

今回の東京大会は、ホテル雅叙園にて開かれました。中華料理業界のスローガン「一、数は力、組合員の増強を」「二、後継者、中華の魅力を育てよ」を全組合員にて読みあげました。会長は、「生活様式の変化や世界情勢等に伴って、光熱費、食材の値上がり、最低賃金や物価高騰など、厳しい経営環境に立たされている。これからは、知恵とアイディアを出し合って、この困難を乗り越えましょう。」と所信表明されました。そして、次期福井大会の委嘱状授与、大会旗引継ぎ、福井組合員9名と県観光宣伝隊課3名によりグルメや観光等の説明および挨拶を行い、はぴりゅうの着ぐるみによる宣伝で、盛り上がりました。

これから、福井県中華組合員が心を一つになって大会準備にかかりますので、生衛組合員の皆様方にも、なお一層の理解と協力をお願い申し上げます。

生活衛生営業指導センター・連合会からのお知らせ

生衛業経営セミナーを開催しました

令和5年9月4日（月）、ホテルフジタ福井において、令和5年度生衛業経営セミナー（福井会場）を開催し、45名の方にご参加いただきました。東海・北陸ブロックの開催地として平成29年以来6年ぶりの本県での開催でした。アップコンパス合同会社代表 IT経営マガジン「COMPASS」の石原由美子編集長に「人口減・デジタル化は生衛業に大きなチャンス」をテーマにIT活用事例についてご講義いただきました。また、全国生活衛生営業指導センターの伊東専務理事からは、「経営状況調査や景気動向調査の結果などを元に「生活衛生業及び生活衛生同業組合の再興に向けて」についてお話をいただきました。

生衛業への支援要請活動を行いました

令和5年10月27日（金）、福井パレスホテルにおいて、連合会（中野達也会長以下、各生衛組合の理事長）が、福井県（池上栄志健康福祉部長、佐々木富代医薬食品・衛生課長）ならびに福井県議会生衛議員団（松田泰典議員、田村康夫議員、宮本俊議員、兼井大議員、 笹原修之議員）に対し、生衛業への支援要請を行いました。連合会からは、物価高に苦しむ生衛業界への一層の支援や、誘客につながるメッセージ発信等を強く訴えました。



これに対し県側からは、組合の発展は行政にとっても望ましいことで、可能な限り協力するとの回答をいただきました。

衛生水準の確保・向上事業を推進しました

令和5年9月28日（木）、福井パレスホテルにおいて、各生衛組合、福井県、日本政策金融公庫および当指導センターが会話し、「第1回衛生水準の確保・向上事業推進会議」を開催しました。採択された行動計画に沿って、組合の広報、加入促進活動等が一斉に展開されています。

会議後、デジタル化に関する講演や、デジタル化に関する機器・システム等を取り扱う企業・ベンダーによる展示相談会や個別相談が行われました。

経営特別相談員研修会を開催しました

令和5年11月30日（木）、福井県職員会館において、経営特別相談員研修会を開催しました。

福井県から委嘱された40名の経営特別相談員を対象に、「事業承継の道について」「生活衛生業を取り巻く最近の話題について」「衛経推薦事務の進め方」についての講義が行われました。質疑応答も活発に行われ、相談指導活動に役立つものとなりました。



クリーニング師研修を実施しました

令和5年11月26日（日）福井県自治会館において、会場制のクリーニング師研修を開催しました。大阪府クリーニング研究所の桑野所長をお招きし、「洗濯物の処理」や「繊維及び繊維製品」について分かりやすくご講義いただきました。また、消費生活センターの井藤研究員からは、「洗濯物の受取り・保管及び引き渡し」について、実際に起きた事例を元にお話しいただきました。その他、「衛生法規及び公衆衛生」についての講義がありました。



一方、新型コロナ感染拡大に配慮して、希望者には通信制での受講も認めました。合わせて約40名が受講されました。

クリーニング業生衛組合のご協力を得て、受講案内を円滑に行うことができました。

高校生インターンシップを実施しました

令和5年6月16日（金）に開催された福井県生活衛生営業後継者育成支援協議会において策定された計画をもとに、6月に各協力事業所において高校生のインターンシップを実施しました。福井商業高等学校、福井農林高等学校の生徒が職場体験をし、生衛業の仕事の内容を少し理解ができたほか、熟練した人と同じような働きをすることの難しさを知るなど貴重な体験をしました。受入れ店からは、明るく熱心な生徒さんたちだと、高評価をいただきました。



◆ 生活衛生同業組合 ◆

組合名	団体住所		電話
福井県理容生活衛生同業組合	〒910-1142	吉田郡永平寺町松岡兼定島34-3-2	0776-61-2443
福井県美容業生活衛生同業組合	〒918-8237	福井市和田東2-1713	0776-28-5200
福井県クリーニング業生活衛生同業組合	〒910-0015	福井市二の宮2-28-38 福弘ビル3F	0776-23-4044
福井県公衆浴場業生活衛生同業組合	〒910-0026	福井市光陽4-2-26	0776-22-2761
福井県興行生活衛生同業組合	〒910-0006	福井市中央1-17-12 (有)伊井興業内	0776-21-1511
福井県旅館ホテル生活衛生同業組合	〒910-0005	福井市大手3-12-20 アレックシティおやかたビル2F	0776-22-7449
福井県料理業生活衛生同業組合	〒915-0076	越前市国府1-11-5 糸屋内	0778-22-0054
福井県寿司商生活衛生同業組合	〒910-8537	福井市大和田1-101 中央市場関連商品売場棟	0776-53-3040
福井県麵類業生活衛生同業組合	〒915-0066	越前市神明町1-8 うどん坊山むろ内	0778-23-0096
福井県喫茶飲食業生活衛生同業組合	〒918-8239	福井市成和1-3123	0776-21-7839
福井県飲食業生活衛生同業組合	〒910-0859	福井市日之出1-1-17 ホテルエコノ福井駅前1F	0776-25-0555
福井県社交飲食業生活衛生同業組合	〒910-0859	福井市日之出1-1-17 ホテルエコノ福井駅前1F	0776-23-4833
福井県食肉生活衛生同業組合	〒910-8580	福井市大手3-17-1 福井県中山間農業・畜産課内	0776-20-0439
福井県中華料理生活衛生同業組合	〒918-8001	福井市つくも2-1-22 来々軒内	0776-36-8200

税務署からのお知らせ

確定申告はスマホ×マイナンバーカードでe-Taxが便利

e-Tax の5つのメリット

- 税務署への持参不要
- 印刷・郵送代不要
- 添付書類提出不要 ※一部の書類は除く
- 確定申告期間24H 利用可能 ※メンテナンス時間除く
- 早期還付(3週間程度で還付)

確定申告書の作成方法は動画でチェック！

確定申告書等作成コーナーを利用した入力方法などの動画をご案内しています。

令和5年分の確定申告

所得税および復興特別所得税・贈与税 令和6年3月 15日(金)まで	消費税および地方消費税(個人事業者) 令和6年4月 1日(月)まで
--------------------------------------	--------------------------------------

税務署の申告会場への入場には、「入場整理券」が必要です。

- ▶ 各会場で当日配付
- ▶ LINEから事前発行 (国税庁LINE公式アカウント)

詳しくは国税庁ホームページをご確認ください。